

テニスコートの更新工事について

苦情申立ての概要

区内の市のAテニスコート（以下「Aコート」といいます。）12面が工事により1年間の予定で閉鎖（以下「A工事」といいます。）されており、同区内の市のBテニスコート（以下「Bコート」といいます。）3面も工事により3か月の予定で閉鎖されるとの発表がされました（以下「B工事」といいます。）。

調べたところ、Aコートのリニューアルは、市民の利用を無視し、さらに今までの配置を無視した全面更新が原因であると判明しました。旧来のコートの位置を変えずにリニューアルすれば、費用が節約でき、Aコートの閉鎖も3分の1ずつ行う等の工夫ができ、市民ファーストのリニューアルが可能であったのですが、無用な費用が増えることとなりました。そんな状況の中、B工事が発表されました。同区内では市のCテニスコート6面だけが利用できる状況になり、区内のテニスコートの実に70%以上が使えない状況になります。

Aコートがオープンするまで、Bコートは応急処理で済ませるのが市民ファーストではと思う次第です。

市民オンブズマンの判断

あなたは、区内のテニスコートの利用について、A工事及びB工事によって、3か月間、区全体で21面のうち15面のテニスコートが利用できなくなること、及びAコートを全面改修としたことについて、苦情を申し立てています。

1 A工事及びB工事によって、区全体で21面のうち15面のテニスコートが利用できなくなることについて

市によると、同区内において市民が利用できる市のテニスコートは合計で20面あり、Aコート（10面）は1年間使用できず、Bコート（3面）は3か月使用できないとのことです。そうすると、工事が重複する3か月間、区内にある市のテニスコート20面のうち13面が使用できないことになり、これだけ使えないと、あなたが市の対応に不信感を覚えることはやむを得ないと考えられます。

そこで、工事の理由について見てみると、市によれば、A工事は、Aコートのみならず、施設が老朽化していることもあり、利用者の利便性を向上させ、大会利用のニーズに対応するという公園再編整備事業の一環として実施されているものであり、大規模な事業であることを考慮すると、1年間という長期間、Aコートを全面閉鎖することには合理的な理由があるといえ、B工事は、Bコートの損傷が著しくなり、利用者がケガをする事例が生じたこともあって、早期に全面工事する必要性が生じたために実施されているとのことであり、市民の安全を第一に考えれば、B工事を実施することにも合理的な理由があるといえます。

また、A工事が大規模な工事であり、B工事が急を要する工事であることを考慮すると、工事の時期を変更することは難しかったと考えられます。

そのため、工事が重複する3か月間、区内のテニスコート20面のうち13面が使用できないことは、テニスを楽しむ市民にとって不便を生じさせるものではありますが、A工事は公園全体の利便性向上等のための大規模工事であり、B工事は市民の安全を優先した結果であるため、市として、やむを得ない対応であったと市民オンブズマンは判断します。

2 Aコート进行全面改修としたことについて

市によると、公園の再編整備は、Aコートだけでなく、利用者の利便性に配慮した全面的な施設改変を行うものであり、電気や給排水設備も抜本的な改変を伴うことから、Aコートの利用を維持しながらの整備は難しいとのことです。

この点について、市民オンブズマンが市から提出された資料を確認したところ、A工事ではコートが10面から12面に増やされ、クラブハウス等が新たに建設されることから、利用者の利便性が向上する合理的な整備計画であると認められます。そして、施設の建設に当たっては電気や給排水設備の工事を行うことが当然に必要となるので、工事を行いながら一部のコートのみを利用に供することは困難であると考えられます。また、従来のコートについては老朽化の問題もあったことから改修が必要であり、それをA工事においてまとめて行うことも不合理とまではいえないと思われます。そうすると、市が、A工事を行うに当たって、Aコート进行全面閉鎖すると判断し、その判断に基づいて事業を行っていることはやむを得ないものといえ、妥当であったと市民オンブズマンは判断します。

3 Aコートがオープンするまで、Bコートは応急処理で済ませるのが市民ファーストだと考える。

市の回答によると、B工事については、経年劣化による損傷が著しくなり、利用に支障が生じるようになったことから、Bコートの人工芝の全面張替えなど大規模な改修工事を数年前から検討していたとのことです。また、人工芝の全面張替えなど工事の内容が大規模となるため、予算の確保が必要となり、予算を確保するまでの間は、出来る限り安全にBコートを利用できるよう、人工芝の部分補修を行い、継続して利用できるよう努めてきたところ、Bコートの損傷がさらに悪化し、利用者がケガをするなど、これ以上の利用の継続は、プレー中の事故の可能性が非常に高いと判断し、早期に人工芝の全面張替え工事を行うことが必要となったため、A工事の期間と重複することは認識していたが、利用者の安全安心を考慮し、この時期にB工事を実施することにしたとのことです。

以上のように、Bコートの状態は、市民の安全を考慮すると、応急処理では間に合わず、急を要する状態となっていたと考えられます。そのため、Aコートの閉鎖期間中ではありますが、市がB工事を実施したことは、利用者の安全を第一に考えた結果であり、この点について、市の対応に不備はないと市民オンブズマンは判断します。